

未来に責任



木村亮太

- 1984年4月22日 枚方市に生まれる
- 1991年 枚方小学校入学
- 1997年 バンコク日本人学校卒業
- 2000年 枚方中学校卒業
- 2003年 四條畷高校卒業
- 2007年 大阪大学経済学部卒業
- ベンチャー企業を経て、
2011年より枚方市議会議員(1期目)
- 現在、若者の政治参加を促す
NPO法人ドットジェイピーの執行役員を務める

主に取り組んでいる政策

- 行財政改革全般
- 人事制度・給与制度
- 地域やNPO活動の活性化
- 子育て世代の支援

「明るい未来を作りたい。」

そう訴え、「これまでの政治を変えて欲しい」「枚方市を良くしてほしい」という声に支えられ、組織もお金も知名度もない私は市議会に送り出していました。そして、約2年が経ちました。

市議会議員になって、改めて感じるがあります。それは、環境の変化とともに、時代遅れになっているもの、一方で未来のために今からやらなければならないものがあるということ。始めるもの、やめるもの、続けるもの・・・

しがらみのない私が、初心を忘れることなく、枚方の明るい未来のために未来に責任をもった政治で提案をしてみたいです。

枚方市 | 無所属

市政報告05

未来に責任

枚方市議会議員

木村亮太

国でやらなければならないこと
枚方でやらなければならないこと
国と同じく、市の課題もたくさんあります。

Report of the Hirakata Municipal Administration

Topics

- NPOや地域と行政が力を合わせるために
- 達成されない待機児童ゼロ
- 概算160億円の総合文化施設の整備
- 民間と最大2.19倍の給与格差

このチラシは市政調査を目的として発行しています。皆様のご意見をお聞かせください。

(仮称)市民まちづくり基本条例について

NPOや地域コミュニティと行政が力を合わせ、枚方市を良くしていくためには

今後に必要な考え

これからの時代の変化、多様化・複雑化する社会のニーズに行政単体で応えていくのは難しい部分があります。地域やNPOと行政が協働をしながら、課題を解決していくべきだと考えております。今審議されている条例ができることで、そのような枚方市になればという想いがあります。しかし・・・

立ち消えて復活した議論

前市長時代に、同趣旨の条例について具体的な市民参加の手法も含めて審議をしておりました。現市長になり、「理念だけを謳った条例はいらない」と条例制定を凍結しました。前回の選挙公約に突如掲げ、所信表明でも「具体性のある条例を制定する」ということで動き出しました。さらに、審議会では「具体性はなく理念だけのはずの以前の条例案」をたたき台にしています。

紛糾する議論

また、当初のスケジュールから大幅に遅れています。市民の定義の議論が紛糾したことや、市が条例を作ることでどういう課題をどう解決したいのか、方向性が不明瞭であることが原因だと感じます。確認をすると「市政におけるさまざまな場面に市民が参画し、行動していただける仕組みを整えることを目的とする、市民参画・協働の条例にしたい」とのことです。

議論すべき点

「外国人も含む枚方市に在住・在学するもの」という定義の市民の参画とは何を示しているのか。いわゆる外国人参政権なのかどうか。また、条例案の中で地域コミュニティやNPOは、政治的に中立である旨が記載されています。一般的に、ほとんどの団体が政治的に中立であること承知しています。しかし・・・

地域組織の政治的中立性は

実際は、あるコミュニティの代表が政治家に寄付をしたり、自治会として特定の市民を選挙において推薦したりと、政治的に中立であるとは言い難い状態があるのも事実です。また、条例制定ありきではなく、違うやり方で市民参画協働を促す仕組み(ガバメント2.0)についても提案をしました。

ガバメント2.0とは・・・

ガバメント2.0はスマートフォンなどを活用し、公共サービスを実施していく手法です。例えば、公園や道路の破損、公共施設の不具合を発見した市民がその場で写真を撮り、アプリから投稿し、市民と行政が分担して解決する手法があります。他にも市民への問いかけと回答が可能なアプリもあります。市民と市役所との距離を近づけ、より市民サービスを効率的に行うことができます。千葉市などが先進的に取り組みを進めております。

質疑

【質問】この条例は外国人参政権の規定は入るのか？

【答弁】住民投票に関する規定はない。

【質問】自治会が特定の候補者を推薦する行為は条例の趣旨に則しているのか？

【答弁】政治的に中立が基本ではあるが、具体的には自治会において議論する問題であると考えている。

【質問】政治家がコミュニティの代表から献金を受け取ることはいいのか？

【答弁】事実は確認したが個人としての活動であれば問題ない。

【質問】条例を制定する事ありきではなく、ガバメント2.0の発想を取り入れてみてはどうか？

【答弁】千葉市の例も承知しており参考にしていきたい。条例も制定する。

約160億円かかる事業 にぎわい創出のための調査を

目的不明のアンケート

総合文化施設(現市民会館及び大ホールの代替施設)の整備計画が進んでおります。アンケートを実施しましたが、その内容は、席数を何席にするか、などの施設の仕様の項目に終始しています。また、普段利用されている団体からの回答率が50%を切っています。さらに質問項目によっては具体的な数の選択肢を選ばず、65%こえる人が「提案なし」を選んでいるものもあります。一体、何のためのアンケートなのでしょう。

駅前全体で考えるべき

確かに、現在の市民会館大ホールは、築40年以上経ち、建て替えはしなければなりません。ただし、にぎわいのなくなっている市駅周辺や、築50年以上経ち防災拠点としての機能が求められる市役所などのことも考えなければなりません。

整備手法の工夫を

様々な新しい整備手法も出てきている中で、単独でこのまま進めても建て替え以上の効果は出ません。報道機関でも話題になっているように、民間企業とコラボレーションをして図書館を作り上げた自治体もあります。全体を考えて、知恵を出し工夫を進めるべきです。

質疑

【質問】

席の数の調査ではなく、にぎわい創出のための別の調査も必要ではないのか？

【答弁】

事業手法を選定していく中で、にぎわい創出につなげるよう努めていく。

待機児童ゼロに向けて 積極的に余裕のある施設の活用を

5年連続未達成

市長が公約にも掲げる「待機児童ゼロ」は残念ながら、5年連続で未達成です。できる限りの策を講じるべきです。市は公立保育所の民営化や保育所の増改築による定員増など従来通りの取り組みはやっています。しかし、新しい取り組みや柔軟な対応が少ないです。

進み始めた施設・土地活用

私が以前から提案していた、市有財産の有効活用(および最適管理・有効活用・総量圧縮)も徐々に進み始めています。「未利用の市有施設・土地の活用のみ」から、「現在利用中の市有施設・土地であっても活用できるものは活用」へと考え方も変わっています。待機児童解消に向けて、余裕のある施設を有効活用していくべきです。

※12月議会にて提案した広域入所制度の範囲拡大は本年度の4月より実現。

もっと積極的な対応を

他市では様々な取り組みを始めています。市全体の事業を見ると、「あれば嬉しいかな」程度のものがまだまだあります。その予算は待機児童解消などに充てられるべきです。この問題には枚方市をあげてもっと真剣に考えなければなりません。市の積極的な対応が求められます。

質疑

【質問】

比較的時間がかからず、今後の少子化の時代にも対応できる手法として、余裕のある他部署施設を活用してはどうか？

【答弁】

関係部署と連携した庁内委員会などで、さらなる待機児童対策の検討を進めていく。

民間類似職種との最大2.19倍、差額約350万円ある給与格差の議論を

なかなか進まない問題

この問題は①民間との給与格差が最大2.19倍と大きすぎる。②新しい給料表が導入されたにもかかわらず、職務職責との整合が未だに図れていない。この2つの趣旨で質問を続けております。

民間均衡の原則

①については地方公務員法にも「民間均衡の原則」に反しているという点で指摘しております。②については、①のような問題点があり、新しく民間類似職種とある程度均衡のとれた給料表を作り、採用を再開しました。※2年前から市役所に入職した技能労務職員は、均衡のとれた給料表が適用されています。

給与体系の矛盾

しかし、在職していた技能労務職員には今までの格差のある給料表が適用されています。民間企業は、給料表や職種が違えば、求められる業務内容や責任が違います。しかし、「事務業務が求められる給料表が適用される職員」も、今後は、「本来であれば事務業務が求められる給料表が適用される職員」と同じ業務(=事務業務も含めて)にも従事していくという説明がありました。枚方市の場合、本来の流れを考えると仕事内容ごとに違う給料制度にするはずですが、しかし、このままでは業務内容は同じにもかかわらず、給料表は違うという不整合が生じます。

市民への説明責任

現在、新しい行政改革のプランの中でも「技能労務職員のあり方」の議論をし、平成25年度中に結論を出すとのことですので、しっかりと市民への説明責任を果たすべきです。

問われる行革への姿勢も

採用を開始したことについては、もともと「民間委託を進める」という行政改革プランがありました。しかし、その民間委託の目標は未達成です。一方で直営職員の採用を再開しています。これは道理のなかった人事制度とはいえません。あり方の議論⇒採用計画⇒採用実施の順番で進めることも求めています。

質疑

【質問】

今後の議論の際に、このような不整合が生じることなく、各職員が職務・職責に応じた給料表の適用を受けるといった、市民の方が見ても納得できる形にしていく考えなのか？

【答弁】

技能労務職員が現に従事する業務については、給与制度上の職務・職責との整合を図れるよう、業務内容を精査していく。結果として、万が一不都合が生じている事例があったならば、一致できるように必要な見直しを講じていく。

職種	枚方市職員	民間類似職種	民間との格差	差額
清掃職員	¥6,755,244	¥4,035,300	1.67倍	約260万円
学校給食	¥6,293,836	¥3,675,400	1.71倍	約260万円
用務員	¥6,454,043	¥2,943,200	2.19倍	約350万円
自動車運転手	¥5,704,820	¥3,515,400	1.62倍	約220万円

*年収ベース試算値 枚方市人事行政の運営等の状況の公表 平成23年度より

Contact/連絡先

〒573-8666枚方市大垣内町2-1-20 枚方市役所4階
未来に責任・みんなの会議員控室
☎070-5651-5832
E-mail : hirakata@kimura-ryota.net
HP : http://kimura-ryota.net
blog : http://ameblo.jp/kimura-ryota
twitter ID : kimura_ryota